

# 研究協力のお願

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究を行います。この研究は臨床情報を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へご連絡ください。

1. 課題名
昭和大学横浜市北部病院における 「大腸鋸歯状病変の病理組織学的再検討と内視鏡所見との対比」の調査
2. 研究責任者
昭和大学横浜市北部病院消化器センター 助教 小川 悠史
3. 研究の概要・計画
研究背景:大腸鋸歯状病変は世界保健機関(WHO)により Traditional serrated adenoma, Sessile serrated adenoma/polyp (SSA/P) with cytological dysplasia, 鋸歯状構造を有する古典的腺癌などに分けられる。しかしながら、Hyperplastic polyp との鑑別に苦渋する病変や、これらに分類するのが困難な病変も未だ存在する。これらの病変は、近年の分子生物学的解析と相まって、大腸癌の発癌経路の一つとして注目されている。また病変そのものの異型度は一般的に低いとは言え、一旦進行への因子(現在未だ不明)が加わると急速に浸潤・進展するといわれており、予後が悪くまたその発生頻度も高い。 今回これらの病変に対して病理学的所見と内視鏡的所見について詳細に検討することで、より診断精度の高い病理所見・内視鏡所見を明らかにすることを目的に本研究を計画しました。 調査対象期間:2010年1月1日~2016年12月31日 調査対象情報:上記の病理診断にあてはまる切除標本および内視鏡画像 調査項目:患者背景(年齢、性別、病変の存在した部位、大きさ) 病理プレパラートの病理学的所見および内視鏡画像所見
4. 研究実施期間
倫理審査承認後に実施医療機関の長の実施許可を得た後~2018年12月31日
5. 問い合わせ先
昭和大学横浜市北部病院 消化器センター 助教 小川 悠史 住所:224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1 電話番号:045-949-7000

なお、個人情報の保護のため、診療情報はすべて個人を識別できる情報(氏名、住所、生年月日、電話番号など)を削除し独自の記号を付して取り扱い、研究成果を学会や論文で発表する際も個人情報を出すことはありません。